

60min chart
3/29-4/2



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

29日

ドル円は本邦輸出企業から月末に絡んだ売りが持ち込まれた。また、一部欧州大手証券が米ヘッジファンドのデフォルトに伴うポジション解消を発表したため、損失が計上されるのではとの憶測から株安が進み、つれて109.37円まで弱含んだ。もっとも、海外時間に入るとリスク回避の売りも一巡し、米長期金利の上昇につれて109.85円まで反発した。

30日

ドル円は期末・年度末最後の5・10日(ゴト一日)に向けて買いが先行。節目の110.00円を上抜けると買いが加速し、一時110.43円まで値を上げた。バイデン米政権のインフラ再構築計画発表を翌日に控え、米経済に対する楽観的な見通しがドル相場の押し上げ要因となった。

31日

ドル円はこの日も月末・期末・年度末の仲値に向けた買いが観測された。一時110.97円と昨年3月以来の高値を更新。その後、月末・期末のロンドン16時(日本時間0時)のフィクシングにかけてはドル売りが観測されたことで110.40円台まで伸び悩む場面も見られたが、フィクシングを通過すると再び下値を切り上げた。

1日

アジア時間こそドル円は方向感の乏しい動きとなったが、海外時間に入ると米長期金利の低下を手掛かりにした売りに押され、一時110.55円まで弱含んだ。

2日

欧米市場が休場のなか、ドル円は一時110.38円まで弱含む場面があったものの、米雇用統計の発表後は買い戻しが優勢に。良好な結果を受けて米長期金利が上昇したことに伴い、110.75円まで反発した。

総括

先週のドル円は下値の堅い動きとなった。週明け29日には109.37円まで弱含む場面があったものの、その後は米長期金利の上昇を背景にした買い戻しが優勢に。バイデン米政権のインフラ投資計画による景気回復期待を支えに下値を切り上げる展開が続き、節目の110.00円を上抜けて一時110.97円まで上昇。その後は米長期金利が低下したことで伸び悩んだが、週末2日には良好な米雇用統計を手掛かりに110円台後半まで買い戻された。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
31日	15:00	水	GBP	GDP改定値	前期比	10-12月期	1.0%	1.0%	1.3%
31日	18:00	水	EUR	HICP速報値	前年比	3月	0.9%	1.3%	1.3%
31日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	3月	11.7万人	55.0万人	51.7万人
1日	8:50	木	JPY	日銀短観・大企業製造業	*	1-3月期	-10	0	5
1日	23:00	木	USD	ISM製造業景況指数	*	3月	60.8	61.3	64.7
2日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	3月	37.9万人	64.7万人	91.6万人
2日	21:30	金	USD	失業率	*	3月	6.2%	6.0%	6.0%

一言コメント・・・米雇用統計で非農業部門雇用者数変化が市場予想を大きく上回る結果となり、米長期金利が上昇。為替市場ではドル買いの反応が見られました。

先週の注目された要人発言

29日14:01 カブジュオール・トルコ中銀総裁「5%のインフレ目標を継続して厳守する」「次回4月会合での利下げは保証されていない」

30日03:40 バイデン米大統領「ワクチンを接種できる薬局を倍増させる」「4月19日までに9割の成人にワクチンの接種を行う」

30日20:38 カブジュオール・トルコ中銀総裁「中銀はあらゆる政策手段を効果的に使う」「23年には5%のインフレ目標を達成させる」「現在の高いインフレ率は金融引き締めスタンスを必要としている」「政策金利はインフレ率を上回ったままとなる」

31日17:17 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁「刺激策の終了前には、十分な周知を行う」

1日03:26 マクロン仏大統領「土曜日から4週間にわたるロックダウンを開始する」

1日05:52 バイデン米大統領「インフラ計画は雇用と家族の2つに分かれる」「家族についての部分は数週間以内に公表」「計画は全ての人に機会を開くもの」

1日16:04 レーンECB専務理事兼チーフ・エコノミスト「第1四半期の経済成長は再び縮小した可能性」「行動制限を更に延長するようならば、第2四半期に影響を及ぼすだろう」「短期的な経済情勢、引き続き高い不確実性に直面している」「20-21年インフレ動向、パンデミックショックの影響大きい可能性」

2日01:36 マコーネル米上院少数党院内総務(共和党)「バイデン米大統領による2兆ドルのインフラ計画は、共和党党员の支持を得ることはできないだろう」

一言コメント・・・バイデン米大統領が新型コロナワクチンの接種ペースを加速させる方針を示したことを受け、経済正常化への期待からドル買いで反応する場面が見られました。一方、マクロン仏大統領が追加のロックダウン実施を発表し、ユーロの重しになる場面も。また、相次ぐ中銀総裁の更迭で投資家からの信頼が揺らぐトルコでは、新総裁が引き締めスタンスを継続することを繰り返し訴え、火消しに追われました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
5日	23:00	月	USD	ISM非製造業景況指数	*	3月	55.3		58.5
6日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.10%		0.10%
7日	21:30	水	USD	貿易収支	*	2月	-682億ドル		-705億ドル
7日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
8日	21:30	木	USD	新規失業保険申請件数	*	*	71.9万件		65.0万件
9日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	3月	25.92万人		9.00万人
9日	21:30	金	USD	PPI	前月比	3月	0.5%		0.5%

今週の注目は・・・FOMC議事要旨

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のFX124コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。